木更	津工業高	等専門学	校開講年月	度 平成30年度((2018年度)	授	業科目	法学			
科目基础	礎情報										
科目番号		0070				科目区分		般 / 選択			
授業形態 授業						上単位数 履修単位:		1			
開設学科環境都市工			市工学科	丁学科		5					
開設期		前期		週時間数			2				
教科書/教	树	指定し	ない(資料を配布	する)							
担当教員		小谷 個	俊博,伊藤 克彦								
到達目標	標										
全体の概 具体的な す。	略を示する 社会問題に	は学を触れた ことを目的と こ応用できる	ことがない、もし しています。具体 こと、③法学の基	くはこれから法学をき 的には、①法と呼ばれ 本科目とされている。	学びたいという学生 1る社会制度の機能 憲法や民法の基本的	とに向けて をで役割を が事項を学	て、法学的 空知ること 学ぶこと、	な物事の考え、 、②授業の内 などが本授業	方(法的思考)や、法学 容を の到達目標で		
ルーブリ	リック										
			理想的な到達	理想的な到達レベルの目安標準			安	未到達レベ	未到達レベルの目安		
導入部分(法学概論)			したうえで、 するなど、授			法学の枠組の基本的な部分を理解 できること。		法学の枠組の基本的な部分を理解 できていない。			
憲法			を理解したうに適用するな)枠組の基本的な部分 うえで、具体的な事例 など、授業の知識を基 を発展できること。	日本国憲法の枠組の基本的な部を理解できること。			日本国憲法の枠組の基本的な部分を理解できていない。			
民法			したうえで、 するなど、授	民法の枠組の基本的な部分を理解 したうえで、具体的な事例に適用 するなど、授業の知識を基に自分 の考えを発展できること。			分を理解	民法の枠組できていな	の基本的な部分を理解い。		
学科の3 教育方		項目との	関係								
概要	— 13	法学で向けて	のものを専門とし 授業を行う。特に	ないが、法学の基本的 、この授業では憲法と	内枠組を学ぶことで ≤民法という2つの	ご、社会を D法学分野	維持する を中心に	制度の一つを続	知りたいという学生に		
授業の進	め方・方法	も として	は、最初に「法学	配布し、それに沿いた 概論」と呼ばれる分野 概説し、更に民法と呼	予について解説して	[法学分野	予のあらま	体例を提示する しをつかみ、2	る。授業の具体的内容 次に日本国憲法の統治		
注意点		この授	業は、法の専門的			おらず、	わが国の	法の構造を大	局的に概観することを		
授業計画	画	週	授業内容			调ごとの	の到達目標	<u> </u>			
前期		1週				まず、シラバスの記載事項について確認する。そのト					
		2週	イントロダクション 			で法の役割や社会における必要性をつかむ。					
		3週	井刈の1 / ユ				要について把握する。 裁判所の構造や裁判の仕組みについて学ぶ。				
		4週	裁判のしくみ			簡単な裁判の判決文の文章のサンプルを読みながら、					
	1stQ	5週	刊決害を読む 日本国憲法の概略			法的な思考の概略を学ぶ。 憲法典の背景になる立憲主義という考え方と、その考え方が生まれる背景となった歴史の概要について解説					
		6週	国家制度の仕組み			する。 憲法学では統治行為論と呼ばれる分野を概観する。特 に国会と内閣を中心に説明する。					
		7週	精神的自由				憲法学の人権論の領域における精神的自由権と呼ばれる分野を概説する。				
		8週	経済的自由			憲法学の人権論における経済的自由権と呼ばれる分野を概説する。					
		9週	社会権			憲法学の人権論における社会権と呼ばれる分野を概説する。					
		10週	民法の概略			民法典の全体像や民法の基本的な仕組について知る。					
		11週	民法の基本概念			民法学ではしばしば民法総則と呼ばれる分野を概説し					
		12週	契約と不法行為			、法律行為などの民法の基本概念について学ぶ。 民法学の財産法の領域において、しばしば債権各論と 呼ばれる分野を概説し、債権の仕組みを把握する。					
	2ndQ	13週	物権			民法学の財産法の領域において、しばしば物権総論と 呼ばれる分野を概説する。					
		14週	債権の発生と消滅			 民法学の財産法の領域において、しばしば債権総論と 呼ばれる分野を概説する					
		15週	法における家族		民法学の家族法と呼ばれる領域を概説する。						
		16週									
							-				
評価割る	 合										
評価割る		式験	発表	相互評価	態度	ポート	·フォリオ	その他	合計		
評価割食	Ī	式験 30	発表 0	相互評価	態度	ポート 0	·フォリオ 	その他 20	合計 100		

専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10